

ちばがく

【編集発行】

放送大学
千葉学習センター

〒261-8586

千葉市美浜区

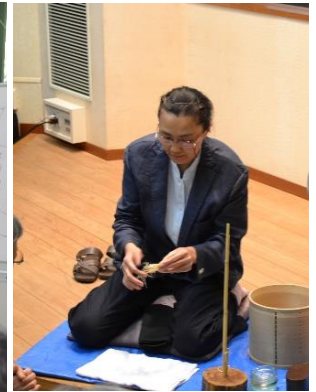
若葉2丁目11番地

TEL. 043 (298) 4367

FAX. 043 (298) 4386

HP : <http://www.chiba-sc.jp/>

THE OPEN UNIVERSITY OF JAPAN / CHIBA STUDY CENTER



つ・な・が・る！

愛と知の環

つながりの学びを広げよう！ つながる中で自己の思索を深めよう！

人類は、そうして文化を創造し続けてきた！
さあ、わたしたちもその仲間に加わろう(!!!)

○目次	-----	2
○平成26年度前期公開講演会のお知らせ	-----	3
○平成26年度学生研修旅行参加者募集	-----	3
○読者の広場	-----	4
○千葉学習センター教務だより	-----	6
◆通信指導の結果について		
◆継続入学・再入学について		
◆科目登録について（在学生）		
◆単位認定試験について		
○放送大学学生募集のお知らせ	-----	8
○『Newsletter ちばがく』投稿のご案内	-----	8

【ちばがくNEWS】

①千葉学習センターホームページリニューアルのお知らせ	-----	2
②第6回千葉学習センター「秋祭り」のお知らせ	-----	2



千葉学習センターホームページリニューアルのお知らせ

現在、千葉学習センターでは、学習センターホームページのリニューアル作業を進めています。皆さんにご覧いただいている千葉学習センターホームページですが、以前より「構造が複雑なため、見たい情報がどこに掲載されているか分かりづらい」「情報の更新に時間がかかる」など様々なご意見をいただいております。今回のリニューアルでは、他の学習センターも多く利用している放送大学共通ホームページデザインを利用します。新しいホームページの公開は9月を予定しています。皆さん楽しみにお待ちください。



※新しいホームページのアドレスは、決まり次第、所内掲示、現ホームページでお知らせします。

(左) 現在のホームページ
(右) 新しいホームページイメージ
※画像は埼玉学習センターHP



第6回千葉学習センター「秋祭り」のお知らせ

10月11日（土）、12日（日）の2日間にわたり、第6回千葉学習センター秋祭りが開催されます。現在、今年度の秋祭りに出展参加する学生のみなさんによる秋祭り実行委員会が中心となって準備を進めています。

センターで活動する各サークルの展示ブースや、合唱、太鼓演奏など様々な企画を実施する予定です。皆さまのご参加をお待ちしています。

※秋祭りの詳細は、学習センターホームページ、所内掲示等でお知らせしていきます。



平成26年度前期公開講演会のお知らせ

千葉学習センターでは、今年度の前期公開講演会を下記のとおり開催いたします。各講演会とも参加費は無料ですが、事前申込みが必要となります。お申し込みは講演日の1ヶ月前より受け付けいたします。参加を希望される方は、学習センター窓口または電話、メール、FAXにてお申込みください。

【申し込み先】

メール: chibagaku_soumu@ouj.ac.jp / 電話: 043-298-4367 / FAX: 043-298-4386

『「使えない英語」から「使える英語」へ』

8月22日(金) 18時30分～20時00分 (幕張テクノガーデンCB棟3階301号室)

○講師 **西垣 知佳子** 氏 (千葉大学 教育学部 教授 / 放送大学客員教授)

○内容 「語彙や文法の知識はそれなりにあって使えるはずなのに、実際場面になると英語が使えない」そうした悩みはありませんか？近年、学習者が外国語を習得するプロセスに関する研究が進歩しています。本講座では、そうした研究成果に基づきながら「使えない」原因を検討し、ワークショップをまじえながら「使えるはずの英語」を「本当に使える英語」に引き上げる方法を考えます。

『不確定性原理とそのあらわれ』

8月23日(土) 13時30分～15時00分 (附属図書館AVホール)

○講師 **大高一雄** 氏 (千葉市科学館 館長)

○内容 「物の速度と位置は同時にはきまらない」という言い方に代表される不確定性原理は、最も重要な量子力学的事実ですが、フーリエ変換では古くから良く知られている事実を物理的現実に応用した原理といえます。この原理の意味や、この原理がどういうことにあるかの例をはなします。

平成26年度学生研修旅行参加者募集

日程 **9月18日(木)**

研修先 **江東区・深川界限**

定員 40名 ※先着順

参加費 3,000円 (入館料、保険料、昼食代金)

内容 今も下町情緒が漂い、数多くの名所旧跡が残る東京都江東区。江東区には仙台堀川、小名木川、横十間川、北十間川、大横川、竪川など多くの川と約170にもものぼる橋があり、水彩都市とも呼ばれています。今年度の研修旅行は、この水彩都市江東の中でも、富岡八幡宮や深川不動、深川飯などで知られている深川地区を散策します。江戸時代の深川佐賀町の町並みが再現展示された深川江戸資料館や、深川ゆかりの俳人松尾芭蕉をはじめとする俳文学関係資料を展示する江東区芭蕉記念館、明治時代を代表する回遊式林泉庭園として知られる清澄庭園などを見学し、江戸下町文化の理解と知識を深めます

募集期間 **8月5日(火)～9月11日(木)**

～ご注意ください！～

- 申し込みは学習センター窓口でのみ受け付けします。参加費は申し込み時に窓口でお支払いください。
- 電話・メール・FAX・郵送等による申し込みは受け付けいたしません。
- 友人等による代理申し込みは受け付けいたしません。必ず参加者ご本人が申し込みを行ってください。



【当日スケジュール】

8:45 千葉学習センター前集合

9:45 江東区深川江戸資料館

11:00 清澄庭園

12:00 昼食

13:20 江東区芭蕉記念館

14:05 史跡展望庭園・深川芭蕉稲荷など

15:20 千葉学習センターにて解散

* 読者の広場 *

【サークル活動紹介】

5月ゴールデンウィーク新緑の大島へ

放送大学海洋クラブ 木下鉄舟

ヨットクルーザー明日香にて3泊4日の旅

航路 5/3 夢の島マリーナ出航 ⇒ 保田港 ⇒ 大島岡田港 ⇒ 5/6 夢の島マリーナ帰港
(船名・明日香=12人乗りクルーザー全長32フィート 堀田船長所有)

5月3日 順風満帆保田港へ

7:30東京夢の島マリーナ出航。堀田船長及びクルー合わせて7人、晴れの穏やかな荒川河口から東京湾へ出航した。右にゲートブリッジ、左に臨海公園の観覧車やその先にはディズニーランドの風景が海面から見渡せた。晴れて穏やかな海面を滑るように明日香は航行した。羽田沖に差し掛かると、飛行機が轟音を発して空へ飛び立っていた。東京湾はいい風が吹いていた。メインマストにセルを張り上げ、朝日を受けた真っ白なセルは風を一杯に受けノット（速力）が上がった。

木更津沖を通過し、大型船航路に沿って今日の目的地保田港へ入港した。港は大型連休とあって桟橋は大混雑だった。船を係留した後「ぼんや」へ全員移動した。保田「ぼんや」は食事や宿泊に温泉が完備され、海洋クラブはよく訪れる場所だ。早速温泉で汗を流し、陸路の参加者1名、計8人揃ったところで冷たいビールで乾杯。食って飲んで宴会は海洋クラブ流に盛り上がった。二次会は明日香のキャビンへ移動した。船内は台所に冷蔵庫、電子レンジ、寝室も装備した豪華なキャビンで二次会会場に変わり歓談した。今夜の船内泊は7人、それぞれ寝袋におさまり翌日に備えた。



赤線＝クルーズ軌跡

5月4日 保田港から進路は大島へ

早朝、強風が吹き荒れ停泊の船体や桟橋が激しくきしむ音で目が覚めた。堀田船長は7人分の朝食の用意で忙しかった。朝食は混ぜご飯とみそ汁でお代り自由だった。心配した風も少しおさまり、出航は6時と決定した。

今回の大島クルーズは保田で4人下船、堀田船長、岩井さん、笹倉さんと木下の4名で出航した。船長の指示で進路は大島へ。風は収まったもののうねりが残り、右に三浦半島左に館山を過ぎるころから明日香の船体はうねりに翻弄されながら前進した。1mの丸い舵を素早く切り換えしては戻し、その都度船体を立て直す操舵の連続だった。操船は30分ごとに交代した。足をふん張り体重移動でバランスを取り、羅針盤と波で見え隠れする前方のヨットのマストを頼りに前進した。船体の揺れは半端でなく、右に左に大きく振られ、何かにつかまっていなくて放り出される勢いだ。

しばらくすると、大島らしき島がぼんやり見えた。そして確かな大島が確認できた。進路はその大島の右端を狙って進んだ。大島に近づくとつれて安堵感と大島の大きさが実感できた。今回で2回目の大島岡田港。島影に入ってようやくうねりから解放された。岡田港も連休とあって、ヨットやパワーボートで混雑していた。保田から6時間余り、接岸して陸に上がったが、船酔いの感触はなかなか体から抜けなかった。



「大きなうねり」



「大島岡田港」

* 読者の広場 *

5月5日 民宿のおかみさん

船の乗り疲れで、昨夜から民宿に泊まった。朝5時18分ごろ、下から突き上げるような地震で飛び起きてテレビをつけた。震源はなんと大島近海と報道された。大島自体は比較的揺れは少なかったが、かえって都内は震度4と報じられた。海洋クラブや家族から安否の問い合わせが多くあった。

今回泊まった民宿のおかみさんは一人で切り盛りしていると聞いた。若いころ千葉にも住んでいたとのこと、昨夜、宿に到着すると「自家用風呂より御神火温泉に」と誘われ二つ返事をお願いした。その温泉は6km程度離れていたが、気さくに引き受けて温泉に向かった。軽自動車の運転はけして上手くなく、携帯電話が鳴るたび平気で道路脇に止めた。トンネルの中に止めて電話を受けた時はさすがに心配した。車の通りはなかったのが幸いだった。朝は朝で、素泊まりなのに明日葉の混ぜご飯に丸ごと焼いたサンマと温かい海藻のみそ汁を出してくれた。特に丸ごと焼きサンマはとてもうまかった。気さくで危険を知らないおかみさんは朝から忙しく働いていた。帰りにはしっかり名刺を渡された。



「メジナやめだい」

大島一周観光と温泉

朝の港は漁師さん達が活動していた。刺網の水揚げや、朝とりのテングサを丁寧に広げる日干し作業の風景が見られた。堀田船長の提案で大島一周観光と港めぐりした。最後は大島温泉ホテルの日帰り温泉に寄った。三原山中腹の露天風呂から見下ろす雄大な新緑の山並みに癒され温泉でのんびりとくつろいだ。山に目を向けると災害の爪痕がいたところに残っていた。それを覆い隠すがごとく新緑が枝を広げて輝いていた。

島も活気があった。短時間で行き来出来る高速船ジェットfoilは熱海や東京方面から度々岡田港に入船した。高速船から降り立つ家族つれや若者グループの声でにぎやかだった。船に戻り、キャビンいわいがやがや長い時間歓談した。明日に備え早めに寝袋へ入った。



「大島公園」



「筆島」

5月6日 寒冷前線と遭遇

大島岡田港3時起床。外はまだ暗く、薄曇り風おだやか。船長は朝食の用意で忙しかった。朝食はソーセージと焼いてとろけたアツアツのチーズをちぎったパンにつけて食べた。これが又、うまい。

朝食の後は出航準備。4時過ぎ岡田港を出港した。島影を抜けるとまともや大きなうねりが待っていた。幸い風は追い風6ノット前後で前進した。ローリングが激しく船体は大きく傾き、操舵の体勢保持は往路と変わらず容易ではなかった。大島を出航して6時間過ぎ、三浦半島がはっきり確認できた。その頃から気象の変化が起きた。三浦半島から房総半島にかけ黒い帯状の雲が横たわり、寒冷前線が東へ通過している模様だった。しばらくすると南の追い風は急に冷たい北風に変貌した。短時間のうちに強い北風と大きな波、大波は容赦なく明日香の船首に襲いかかり、操舵室のフロントに激しくぶつかり船尾へ流れた。風速13mの風と波に押されて3ノットにスローダウンした。明日香は大きく傾き、キャビンのガスレンジが吹っ飛んだ。ローリングとピッチングを繰り返し揺れた。明日香の船底を激しく叩く様はまさに自然の驚異だった。東京湾のシンボル風の塔は目の前なのになかなか近づいてこない。進路を遮る冷たい北風と大きな波と戦い、ようやく夢の島へ帰港した。今日の所要時間13時間30分と長時間だった。



「下は海・上は寒冷前線」

今回は新たな体験と思い出がぎゅっと詰まった大島クルーズだった。船長はじめクルーの皆さんそれから波と戦った明日香ともどもお疲れ様でした。

* 読者の広場 *

【サークル活動紹介】

「放送大学まなびー・ちばサポート」

代表 齋藤 富貴子

*「まなびー」は放送大学のマスコット

*サークル・カラーは、Pink / 健康・若さ・活力

将来の夢と希望に熱く燃える千葉学習センターで学ぶ仲間と共に「みんなに幸せ届けよう！」を合言葉に学生団体「放送大学まなびー・ちばサポート」の設立許可が5月28日におりました。

私たちは放送大学での学びが多くの方のお役に立ち、喜んでいただけることを幸せと感じ活動を開始し、趣旨にご賛同下さる会員を唯今募っております。

皆様からのご意見やアイデアを頂戴しながら「みんなでいいもの作ろうよ！」をモットーに学びやすい環境を創造し、元気に豊かな学習生活を送ることを願い、この目標に向かって進めて参る所存です。

集会は毎月2回、第1水曜日（午前）に定例会を開催して、会に寄せられた声を下に活動する内容を検討し実行計画を考えます。そこで決定した内容のプロジェクトチームを作り、チームリーダーの下で勉強会を月1回設け調査研究して目的達成の実現に向けた企画を立てます。活動チームとしては学生相談・機関紙発行等の構想があり、例会・勉強会とは別に実際の活動はチーム別に開始され行きます。

また、学習センターやプロジェクト（地域連携）支援等、得意分野を活かす支援活動もあり、直近の課題は会員充実を図ることに重点を置いています。

現在は、7月からPC相談チームが活動開始できるように勉強会を行っていますので、ご協力いただける方のご入会をお待ちしています。

会員は「話・和・輪」を大切にし、一人ひとりが「会代表」として活動し、「広く開かれたサークル」を目指して皆様のご協力の元に成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



千葉学習センター教務だより

通信指導の結果について

平成26年度第1学期の通信指導結果は、ご自宅に届きましたでしょうか？届いている方は、復習に役立て、単位認定試験に備えましょう。

①解答・解説が届いていない方は、7/17（木）までお待ちください。

それでも届かない場合は、7/18（金）以降、大学本部までご連絡ください。

②通信指導の結果と自習型問題の解答・解説は別便で届きます。間違っても自習型問題も郵送してしまった場合、再送付しません。

③通信指導の結果が届く前に、単位認定試験の受験票が届くこともあります。

※詳細は、『学生生活の葉』（教養学部p.63～66／大学院p.58～61）をご覧ください。



継続入学・再入学について

1学期末で学籍がなくなる方は、2学期以降の入学手続きが必要です。科目履修生・修士科目生、選科履修生・修士選科生の2学期目、全科履修生の期間満了・除籍の方は、継続出願書類（7月上旬送付予定）で入学手続きをお願いします。全科履修生で卒業見込みの方については『学生生活の葉』に場合分けしてありますので、そちらで確認して下さい。学生種を変更したい方（科目履修生から全科履修生など）は、必要書類を確認するようにお願いします。卒業見込かどうかは、在籍学期数によります。1年次入学では7学期目より、2年次入学では5学期目より、3年次入学では3学期目より卒業見込となります（大学4年生は卒業見込です）。

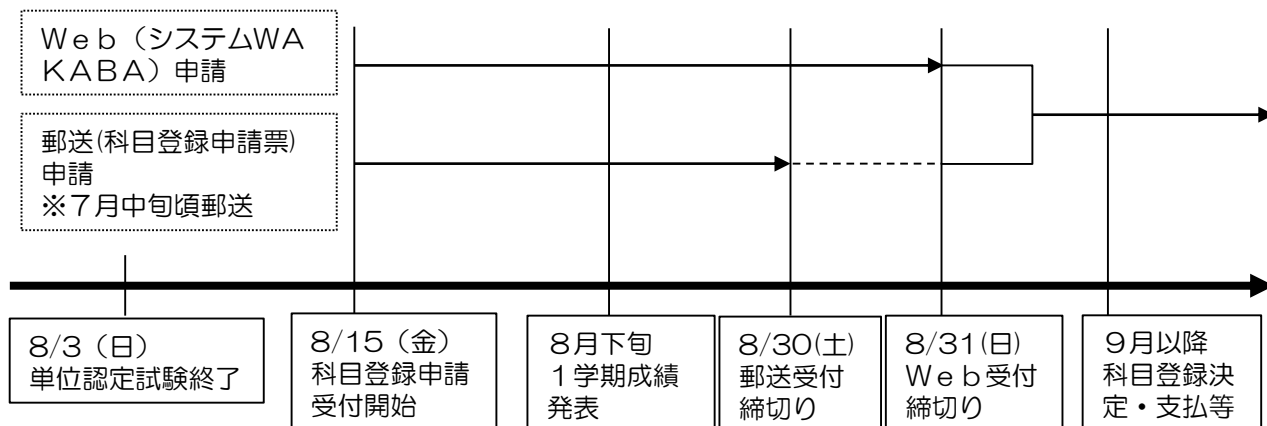
※詳細は、『学生生活の葉』（教養学部p.89～95／大学院p.82）をご覧ください。



科目登録について(在学生)



今年度第2学期の科目登録が、8/15（金）より受付開始となります。科目登録は在学生のみです。



○申請上の注意

締切りは厳守です。申請の際、科目コードと科目名は一致するようにしてください。また、面接授業は、同一科目名でも、クラス違いで日程が異なります。科目登録申請票とシステムWAKABAとの同時申請はできません。1学期に登録した科目は、未受験・不合格の場合、申請する必要はありません(再試験)。

○支払について

9月上旬頃、科目登録決定通知書と払込取扱票が送付されます。科目登録決定通知書で登録できた科目を確認し、払込取扱票で支払いとなります。支払い金額は払込取扱票に記載されている金額となります。また、面接授業で落選した科目を受講する学生が見受けられます。科目登録決定通知書で、必ず科目を確認して下さい。

※詳細は、『学生生活の葉』（教養学部p.56～62 / 大学院p.51～54）、大学・大学院の「科目登録申請要項」をご覧ください。



単位認定試験について



単位認定試験が近付いてきました。勉強の進み具合はいかがでしょう？単位認定試験は、大学院が7月25日（金）・26日（土）、教養学部が7月27日（日）～8月3日（日）の日程で行われます。授業科目案内などで、自分の試験日程を確認しましょう。

○単位認定試験日程と試験形式・持ち込み許可物品について

試験日程・試験の形式（記述式・択一式など）・持込許可物品は、7月中旬までに送られる受験票に記載または同封されています。なお、これらの情報は、すでにキャンパスネットワークホームページ及び、千葉学習センター掲示板には掲載されていますので、そちらでもご確認いただけます。

○受験票・学生証

7月中旬までに受験票が届かない場合は、放送大学本部へご連絡ください。また、通信指導を今学期末提出の方は受験できませんが、前学期に通信指導を提出している方は、受験できます。学生証は、受験の際に必要となります。まだ交付を受けていない方は、試験前までに所属学習センター窓口へお越しください。交付を受ける際に必要となるものは、入学許可書または古い学生証です。また、今まで顔写真を放送大学に提出していない方（出願した時に顔写真を郵送していない、ネット出願した際に顔写真を送らなかった、など）は、学生証を作成できませんので、至急大学本部入学・履修係へ郵送してください。

○過去問題閲覧（学習センター貸出）

試験期間中は、学習センターでの過去問題の閲覧サービスを停止します。また、学習センター内の学生用パソコン（貸出）は、試験期間中使用できません。試験期間中に過去問題を閲覧する場合は、ご自宅のパソコンをご利用ください。

○試験結果について

試験結果は、採点処理等により、発表日が変わってきます。現在のところ、8月下旬発表となっていますので、それまでお待ちください。

放送大学学生募集のお知らせ

平成26年度第2学期(10月)入学生募集について

放送大学では、現在平成26年度第2学期入学生を募集しています。ご友人、ご家族の方で放送大学にご興味をお持ちの方がおられましたら、是非ご紹介ください。

【募集学生種】

教養学部

全科履修生：4年以上在学し、所定単位を修得して「学士（教養）」の学位を目指します。

選科履修生：1年間、興味のある科目のみを学びます。

科目履修生：1学期（6ヶ月）間、興味のある科目のみを学びます。

大学院文化科学研究科

修士選科生：1年間、学習・研究したい分野の放送授業科目を履修します。

修士科目生：1学期（6ヶ月）間、学習・研究したい分野の放送授業科目を履修します。

【出願方法】インターネットまたは、放送大学本部へ郵送により出願

※書類による選考のみで、学力試験はありません。

【出願期間】インターネット出願：現在受付中～8月31日（日）24時

郵送による出願：現在受付中～8月31日（日）必着

平成27年度(4月)大学院入学生募集について

放送大学では、平成27年度4月大学院入学者用の募集要項を配布しています。大学院へ進学して、より高度な教養知の修得を目指したい方の出願をお待ちしています。またご友人、ご家族の方で放送大学大学院にご興味をお持ちの方がおられましたら、是非ご紹介ください。

【募集学生種】

大学院文化科学研究科

修士全科生：修士課程を修了して、「修士（学術）」の学位取得を目指します。

博士全科生：博士後期課程を修了して、「博士（学術）」の学位取得を目指します。

【出願方法】インターネット（修士全科生のみ）または、放送大学本部へ郵送により出願

※出願後、筆記試験および面接諮問による入学者選考を行います。

【出願期間】インターネット出願：8月15日（金）～8月31日（日）24時

郵送による出願：8月15日（金）～8月31日（日）必着

各募集内容の詳細、資料請求（無料）、インターネット出願については、放送大学HPをご覧ください。

●放送大学HP「入学案内」ページはこちら <http://www.ouj.ac.jp/hp/nyugaku/>

『Newsletter ちばがく』投稿のご案内

『Newsletter ちばがく』では、学生の皆さんからの投稿をお待ちしています。学習センターのイベント・講演会へ参加した際のご感想、サークルの活動報告、エッセイ、旅行記、センターで学ぶ他の仲間へ紹介したい情報など、お気軽にご投稿ください。

ご投稿いただいた原稿は、原則として投稿後最初に発行する『Newsletter ちばがく』へ投稿順に掲載いたしますが、ページ数の関係で掲載できない場合は、次号にて掲載いたします。

なお、文字数が多い場合には、文章の調整や2号に分割しての掲載などをお願いする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

また、投稿の際は①タイトル②お名前③学生種・コース名等を忘れずにお知らせください。

【投稿アドレス】 e.chibagaku@ouj.ac.jp

※郵送の場合は、表紙右上の住所まで送付願います。また直接学習センター事務室までお持ちいただいても結構です。